

## 2021 年度実施概要

学校名

佐世保市立宇久小学校

採択活動名

宇久島宝探し～海から学ぶプロジェクト～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 砂浜の植物観察	1・2年	宇久・実践
2. シーカヤック体験、水中観察	全学年	宇久・実践
3. ウニ割り体験	3・4年	宇久・実践
4. 磯の生き物観察	1・2年	生活
5. 宇久島の特産品づくり（塩作り）	5・6年	宇久・実践
6. 釣り体験	3～6年	クラブ活動
7. 椿の植樹・椿油作り	1年	宇久・実践
8. 海の写真展	3・4年生	宇久・実践
9. 宇久の未来を考えよう	5・6年生	宇久・実践、理科

取り組みの概要

発達段階に応じて、低学年では「海に親しむ」「海を知る」こと、高学年では「海を生かす」「海を守る」ことを中心に活動に取り組んだ。

1・2年生が行った「砂浜の生き物観察」や「磯の生き物観察」では、希少な生き物や植物が生息する砂浜で、生き物の専門家の解説を聞きながら、生き物を探したり、実際に触ったりしながら海に親しんだ。また、3年生以上がクラブ活動で行った「釣り体験」においても、保護者や地域の方にボランティアとして協力していただきながら、アジやカマス釣りを共に楽しんだ。

今年度は学校近くの海水浴場で、全学年によるシーカヤック体験と水中の生き物観察を行った。観光協会の協力を得て、安全面に配慮した充実した活動となった。特に、船底が透明なシーカヤックの乗船や箱眼鏡を使った水中観察では、海の中の生き物の様子を間近で見ることができ、児童はふるさとの海の豊かさを改めて実感することができた。

豊かな海の資源を生かした活動にも、多く取り組んだ。3・4年生は、近年漁獲量が減り、希少になっているウニについて学び、観光協会の支援によりウニ割りを体験した。体験を通して学んだことは、市内の相浦西小学校にオンラインで伝えた。5・6年生は、海水から塩を作り、作った塩を島の特産品づくりに生かそうと、塩アイス等の商品開発に取り組んだ。塩アイスは、観光協会と長崎県内の冷蔵製造会社の協力を得て製品の試作をし、島内で販売することができた。

1年生では、今年度も島内の方々の協力を得て椿の植樹と椿の実採集を行い、椿油を絞って、観光協会の指導の下椿油石鹸を作った。できた椿油石鹸は市内の日野小学校の1年生へ送り、通信機器を使ってオンラインで交流することができた。昨年度以降、オンラインによる他校との交流が増え、宇久島の海の魅力や海洋資源を生かした活動について島外に知らせる機会が多くなった。

5・6年生は、九十九島パールシーリゾートを訪問し、水族館では佐世保市特有の海の生き物について、

シーカヤック体験では島々が点在する特徴的な海周辺の地形について学んだ。宇久島の海と比較し、共通点や相違点に気付くことで、ふるさと特有の海の環境を守ろうとする意欲を高めた。

活動中の写真



活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)